

テスト版

あなたの団体の情報開示を 進めるための10分講座

～情報開示で、社会を変えよう～

日本財団システム統括グループ
情報コミュニケーションチーム

山田 泰久

ブログ「CANPAN講座」 <http://blog.canpan.info/c-koza/>
ブログ「Shop人にやさしく」 <http://blog.canpan.info/p-shop/>

- 社会全体が、積極的な情報発信、義務的な情報公開の時代へ
- IT技術の進歩により、簡単に安価に情報開示ができる時代へ

- NPOにも、積極的な情報発信、義務的な情報公開が求められている
- 支援を受ける前の説明責任と、支援を受けた後の説明責任

NPOとは・・・

様々な地域課題、社会問題の解決を目指して活動する組織

個々のNPO

ミッションを達成するために、「情報」をどのように活用するか

ミッションを達成する組織として、組織の信用性を高める必要がある

NPO全体

- ①社会的課題の周知、
- ②解決のための活動への理解促進を「情報」を活用して、出来ないか

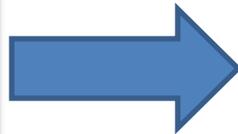
人知れず、ひっそりと活動を行うだけでは、社会的課題が認識されずに終わってしまう

NPOの役割

社会的関心の高まり
潜在的受益者の発掘
新規活動者の参入

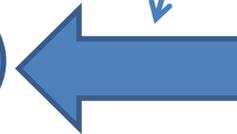
②情報開示

NPO



①活動

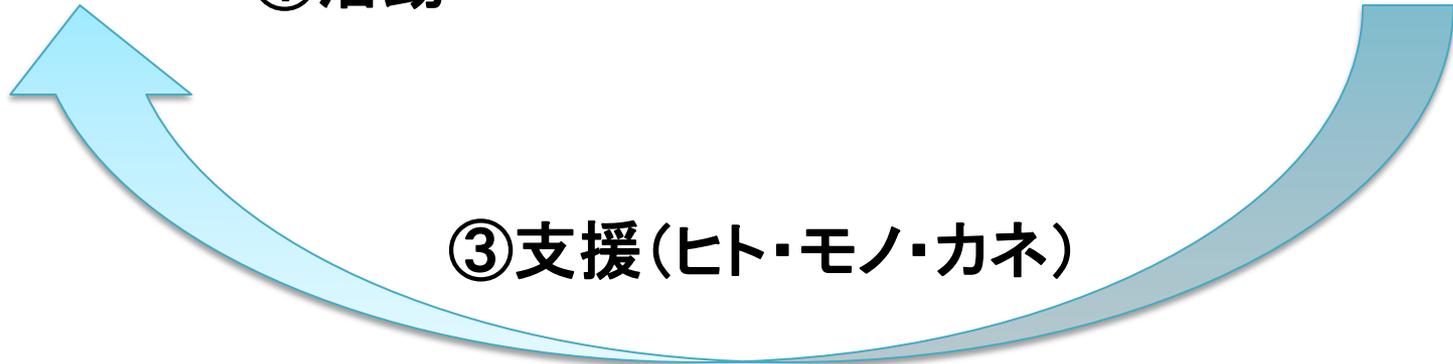
社会的
課題



④関心

社会

③支援(ヒト・モノ・カネ)



情報戦略

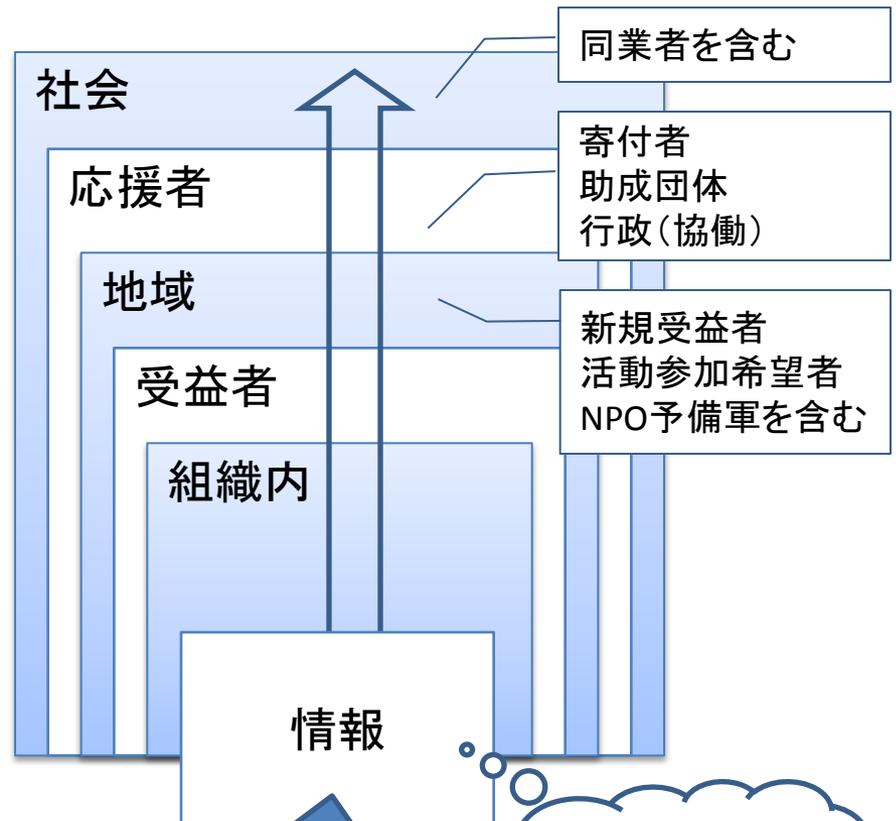
戦略としての情報開示

- 活動内容は？
- いつ行うの？
- 誰を対象に？
- 団体の概要は？
- どのような人が係っているの？

- 必要としている応援(ヒト・モノ・カネ)は？

- 社会的課題は？
- 解決の手法は？
- どうして行うの？

情報開示のターゲット



情報開示がなされていない世界

いい活動が知られて
ない

必要とされている人
に必要な情報が届い
ていない

「有名どころ」だけが
注目される

支援者側が情報を入
手するコストがかか
る

情報開示がなされた世界

社会的課題への関心
が高まる

活動予備軍が参加で
きる

受益者がよりアクセ
スしやすい

NPOへの関心が高ま
る

3万5千の中から、い
い活動を行っている
団体が、選ばれる

支援者が選択できる

いい活動を行ってい
る団体がいい支援を
受けられる

他分野NPO同士の
地域ネットワークが
出来る

同分野NPO同士の
全国ネットワークが
出来る

企業、行政等との地
域ネットワークが出
来る

情報開示を進めるために必要なこと

- ◆他の団体に興味を持つこと。
- ◆ネット上の情報開示方法を知ること。

1ヶ月間、いろいろな団体のホームページやブログを毎日1時間見る

参考になるホームページやブログがあれば、まねをしてみる

参考になる情報がなければ、自ら情報発信する

収入から見た情報開示

収入

そのお金の支払者

説明責任

参加料

参加者

活動

会費

NPO会員

活動・会報誌

補助金／
委託金

行政……………市民

報告書・Web

助成金

助成団体／……………出資者
企業……………株主・社員

報告書・Web

寄付

寄付者……………不特定多数

会報誌・Web

最近は、この部分への意識が高まっている

例えば、食品メーカーの場合

企業情報

商品情報

食物情報

採用情報

財務情報

製造ノウハウ

購入者

消費者

就職希望者

株主・投資家

~~業界他社~~

受益者

その他一般

スタッフ・ボランティア希望者

行政・支援者

同種団体

活動情報

関連情報

活動参加情報

団体詳細情報

解決手法

団体情報

NPO

情報開示の手法

面談

パンフレット

ホームページ

セミナー

会報誌

ブログ

イベント

事業報告書

メルマガ

ブース出展

雑誌・新聞寄稿

メールマガジン

講師

マスコミ活用

ポータルサイト

- ✓ 開示の目的、情報の内容、対象者によって、使い分ける。
- ✓ 同じ素材を使い回す。

- ✓ 代表が100人にそれぞれ説明して計100回説明することと、100人の人が他の人に2回ずつ説明して計200回説明すること。
- ✓ 他の人が周囲の人に説明できるツール・方法が、これから大事。